



瀧 寛和

Hirokazu Taki

1956年大阪府生まれ。大阪大学工学修士（制御工学）、工学博士（知能情報学）。1980年三菱電機株式会社に入社。1986～1990年財団法人新世代コンピュータ技術開発機構の研究開発に参加。1998年から和歌山大学システム工学部教授。同学部長、副学長、システム情報学センター長、工学自然科学系長などを経て、2015年から学長。専攻は知識情報処理、人工知能、知的システム。

和歌山大学は、自信を持って 社会で活躍できる学生を育て、 地域と融合する大学を目指します

和歌山大学は、1949年（昭和24年）5月、和歌山師範学校（男子部・女子部）、和歌山青年師範学校及び和歌山経済専門学校を包括し、学芸学部（現・教育学部）・経済学部の2学部をもって発足しました。1995年（平成7年）10月にシステム工学部を開設、2004年には法人化により国立大学法人和歌山大学となり、その後2008年（平成20年）4月には、経済学部観光学科を母体に観光学部を設置し、現在は、4学部4大学院研究科（システム工学研究科及び観光学研究科は博士課程）からなる中規模総合大学となっています。

また、2014年4月には観光学研究科に博士課程を開設し、学士課程から大学院博士課程までの観光学教育によって、深く多様な学識と鋭い現実分析の方法をもつ観光立国日本を担う人材を養成する唯一の国立大学となりました。

2016年度から第3期（2016年～2021年）中期目標・中期計画に基づく運営が始まります。第3期中期目標の〈基本的な目標〉は以下を予定しております。

和歌山大学は、高野・熊野世界文化遺産など豊かな歴史と環境に育まれた和歌山県唯一の国立総合大学として、学術文化の中心としての使命と役割を担い、「地域と融合」し、地域の発展に寄与する学術研究を推進し、地域創生を牽引する人材を育成します。

1. 恵まれた自然環境や文化遺産を生かした、豊かな人間性を育てる教養教育と、一つの専門性に偏らない分野横断的な専門教育により、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
2. 学生に卒業後の進路を意識させ、確実な専門性を身につけさせる教育体系により、自らの将来に目標と自信を持ち、その実現に向けて粘り強く取り組む人材を育成します。
3. 独創的で萌芽的な研究や新たな分野を切り開く基礎研究を推進し、将来の学術基盤の核を育てます。
4. 観光学など新しい分野で先導的な研究を進展させ、世界をリードする海外の諸大学と連携した国際的な研究拠点を形成します。
5. 和歌山県を中心とするその周辺地域の発展のために、地域イノベーションを起こす応用研究・産学連携研究を進めます。
6. 地域の企業、自治体、団体と連携した実践的な課題に触れる「地域と融合した深い学び」により、柔軟な社会性と対人関係力を養い、地域に誇りを持ち、地域社会に貢献する人材を輩出します。
7. 和歌山圏域の最も重要な財産である農産物、食品の付加価値を高め、農林業と食、健康、環境に関するグリーンイノベーションプログラムを推進します。
8. 人口減少、高齢化の課題解決、防災・減災に寄与するプロジェクトに地域社会とともに取り組みます。

本冊子が、皆様に和歌山大学をご理解していただく手がかりになれば幸いです。なお最新情報につきましては、和歌山大学ホームページ（<http://www.wakayama-u.ac.jp>）をご覧ください。